

Go for it!

2022年10月4日 発行：進路指導主事 小島

学校祭が終わりました。。。

学校祭が終わり、**本格的に受験モードに切り替える時期**となりました。中学校最後の夏休み、あなたはどのように過ごしましたか？この2学期をよりよいものにするために、すでに良いスタートを切っている人たちもいます。目標が明確に決まっている人は、思いも人一倍です。あなた自身はどうですか？すべての人が部活を引退し、学習に使える時間が増えました。今までと同じペースでは、気付いたときに取り返しのつかないことになっているかもしれません。**これまでとはちがう重要な2学期**と言えます。「勝負の2学期」と言ってもよいでしょう。



別紙（オレンジの紙で裏表印刷）で10月からの進路に関するカレンダーを配付しました。

※あくまで現時点での予定ですので、大幅な変更等があれば再度配付します。

私立高校・専修学校を受験する意味

第2回の進路希望調査では、公立高校を第一志望、第二、第三志望で私立・専修学校を記入した人が多かったです。しかし中には、公立のみの記入で、**私立・専修学校が空欄**の人も見られたことが気になりました。

私立・専修学校は、公立高校よりも早く入試は行われ、結果が出ます。公立高校よりも前に「**本物の入試**」を経験する**貴重な機会**です。また、公立受検当日の不測の事態に備え**4月からの進学先が確保されている**ということは**大きな安心材料**にもなります。私立・専修学校を受験を考えていない人は、本当にこのままでいいか検討してみてください。また第二、第三志望での受験を考えている人も、当然、**その受験校は、「4月から自分が通うかもしれない学校」**ということになります。その意味を理解し、改めて、私立・専修学校を受験を考えてみましょう。

最近では、男女共学化、特進クラスの設置、国際・語学系の学科の設置などを進める学校が増えています。また、系列の大学をもち、大学進学に向けて独自の推薦入学の道が開けている学校もあります。さらに受験方法も**推薦入試、一般入試の他に特色入試**という入試が**新設される学校もある**ので、**体験入学・入試説明会**などに参加して、自分の進路選択の幅を広げてほしいと思います。

私立高校の受験について

特色入試と強化部活動に関するお知らせをします。1つ目は、**特色入試**についてです。各高校さまざまな特色を生かした入試が行われます。この特色入試については**事前に中学校側から申し出をしたり、説明会に参加したりする必要があります**。2つ目は、私立高校には、強化部活動を設置しているところもあり、スポーツ特待生や推薦入試で入学した人しか入部できない制度もあるので、気になる人は**できるだけ早く担任または進路担当まで申し出てください**。

